

21年度 専門部三役より 女性部

スの実現にむけた職場環境づくりや、あらゆるハラスメント防止にむけたとりくみはもちろんのこと、個人の尊厳や多様性を尊重した人権教育としてのジエンダー平等教育の実践を地域組合・分会からとりこんでいきましょう。そして、兵教組女性部の歴史や諸権利を次世代へ語り継いでいきましょう。

訴えていくことで、さまざま
な休暇制度の確立・拡充
につながっています。

『兵教組第6次提言』を
ふまえ、組合員自らが課題
を見つめ、学習し、意見交
流・発信していくながら、
ともに笑顔でいきいきと働
き続けられる職場をつくつ
ていきましょう。

り前にできることのありがたさを感じました。まだまだ先行き不透明なことが多々あります、すべての教職員がいきいきと働ける職場づくりができるよう、交流を通してつながりを大切に活動ができるたらと思っています。少しでも力になれるようがんばります。どうぞよろしくお願ひします。

態を工夫しながら女性部の活動を充実させていけたらと思います。すべての教職員がいきいきと働くことができるよう、女性部として何ができるのか、微力ながら力になれたらと思います。よろしくお願ひします。

種は始まりましたが、相変わらず感染症は猛威をふるつており、未だ収束が見通せません。今年度は「コロナ禍でもできること」を工夫しながら、子どもたちを取り巻く環境と私たちの職場環境の改善のために、微力ですがお手伝いができればと思つています。よろしくお願ひします。

づくりがもとめられる。今回のコロナ禍においても、例えば教職員の大きな負担となっている消毒作業や、登下校の見守りにPTAやコミュニティ・スクール等が中心となって参画した事例や、臨時休業中ひとりで留守番をせざるを得ない子どもたちを集めて学習場所を提供するNPO団体や地域のとりくみ事例が報告さ

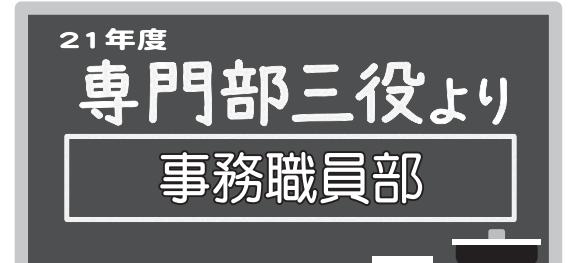


とりくみの重点課題

学校事務職員の標準職務の定着と各市町における基本要綱改正等のとりくみ、「共同学校事務」推進のとりくみが大きな課題です。

「市町組合立学校事務職員の標準的な職務について

とりくみの重点課題



21年度 専門部三役より 事務職員部

(通知)（20・2・26）の周知を図り、その主旨が生かされるよう、標準職務の定着と各市町における基本要綱の改正等にむけてとりくみます。

「共同学校事務」については、学校事務職員がその専門性を生かし、より効果的に学校運営に関わり、学校の活性化と教育の推進がはかられることが重要です。兵庫の「共同学校事務」についての理解、周知をすすめ、学校事務職員が活動の主体となる「共同学校事務」の推進のため、本部、地域組合と連携してとりくみます。

A black and white portrait of a middle-aged man with dark hair, wearing a light-colored button-down shirt. He is looking directly at the camera with a neutral expression. The background is plain and light-colored.

事務職員部のとりくみとして、兵庫における「共同学校事務」の推進体制の確立、また改正された県教委通知「市町組合立学校事務職員の標準的な職務について」を受け、各市町組合に職務に関する基本要綱の改正と定着をすすめることができます。初めての副部長で戸惑うこともあるかと思いますが、滝本部長をはじめ三役一丸となり本部・地区・地域組合と連携をとつて運動をすすめていきたいと思つています。

新型コロナウイルス感染症の影響により例年どおりのとりくみとはならない部分もあるかもしれませんのが、どうぞよろしくお願ひいたします。

中井伸幸副部長（美方）



難波義則副部長（多紀）

副部長2年目を務めます。よろしくお願ひいたします。事務職員にとつては、さまざまな課題とともに力をあわせてとりくみ、一人ひとりに意義のある組合活動にすることと、これまでの諸先輩方が築かれた兵教組運動を語り継いでいくことが使命だと思っていきます。微力ながら滝本部長を支え、みなさんのお役に立てるようがんばります。

②保護者・地域と願いを共有し、	学校再開後、子どもからは、「友だちに会えてうれしい」「学校が楽しみだ」という声が、保護者からは「学校が再開されて助かっている」という声が多く届いた。	今、家族を頼れない子どもや、障害のある子ども、外国につながる子ども等、支援を必要とする子どもの割合は増加し、その内容は複雑で多岐にわたっている。こうした子どもたちこそ、今回のコロナ禍において、真っ先に支援が必要な子どもたちである。つながりが希薄化し分断がすすむ現在の社会において、社群との結びつきが弱い立場の子ども・家庭にとって、行きな拠り所である学校に校できないこの3カ月間どのような生活であつたか。こうした立場の子どもや家庭が孤立することのない共生社会を、教育だけなく福祉と連携した運動をしてとりくんでいかなければならぬ。そのためには教職員側も「つなぎ役」渡し役としての役割、信力・調整力を高めていく。
①学校と家庭・地域をつなぐ教職員の役割	パート⑦ 誰一人取り残されること	シリーズ「兵教組 第6次提言」より



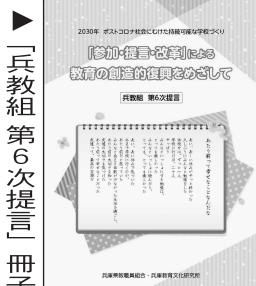
シリーズ「兵教組第6次提言」より

①学校と家庭・地域をつなぐ教職員の役割は

パート⑦ 誰一人取り残されることなく、すべての子どもに寄り添う学校に



みつをすうカブトムシ
新温泉町立浜坂東小学校
1年 開校 悅々



「いざもの詩と絵 第41集」より